

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月06日(火)

事務事業		都市計画道路整備事業		担当課	道路河川課	担当係	幹線道路整備係	管理番号	49211		
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり		根拠法令 個別計画等	都市計画法、道路法					
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進								
	主要プロジェクト										
事業概要		都市計画道路整備事業は、市内の骨格となる都市計画道路の整備を行うものである。									
目的 ※何のために		市街地内の渋滞解消や交通利便性等の向上のため。									
対象 ※誰・何を対象に		都市計画道路									
手段 ※どのように		用地買収及び物件移転が完了した箇所の道路整備工事を行う。									
成果 ※何を求めるか		市民の快適かつ安全な交通環境を確保する。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)	
		一般会計	8	土木費		4	都市計画費	2	街路整備事業費	北通り線整備事業	0
		一般会計	8	土木費		4	都市計画費	2	街路整備事業費	北通り線整備事業	0
		一般会計	8	土木費		4	都市計画費	2	街路整備事業費	原郷上野台線整備事業	1,167,561,680
本事業の 主な業務		・関係機関との調整業務							・		
		・都市計画道路の整備							・		
		・測量設計、物件調査業務							・		
		・							・		
		・							・		
		・							・		

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		・工事の実施・負担金	・工事の実施・負担金	・工事の実施・負担金			
事業費	予算(現額)	1,118,816,000	1,246,624,000	1,597,738,000	495,384,000		
	決算額	176,010,830	1,167,561,680	0	0		
	財源内訳	国支出金	123,362,000	131,140,000	139,920,000		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	22,400,000	584,300,000	1,062,200,000	255,700,000	
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	153,610,830	459,899,680	404,398,000	99,764,000	
人件費	従事職員数(人)	1.64	1.64	1.64	1.64		
	人件費相当試算※	12,729,541	12,906,073	13,442,075	13,442,075		
総事業費試算		188,740,371	1,180,467,753	1,611,180,075	508,826,075		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 1	原郷上野台線工事換算延長	目標値	m	238.23	317.64	397.05	476.46			
		実績値		238.23						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事業計画に基づく年度毎の工事換算延長（79.4m／年） / 年度毎の工事実施換算延長						
	実績値の算出式									
成果指標 1	都市計画道路改良率	目標値	m	61.45	62.33	62.78	63.24	63.69	64.15	
		実績値		61.87						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去 5 年間の伸び率の平均値を加算 / 都市計画現況調査の道路基本調書						
	実績値の算出式									
		目標値	%							
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	原郷上野台線において、前年度から繰越となっていたJRへの施行委託年度協定が完了するとともに、当該年度協定分も予定通り完了し、順調に進んでいる。概ね基本協定における予定工程に沿った進捗が図れている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	原郷上野台線の整備を予定通り進めることが出来、改良率の向上を図れた。
			評価者 幹線道路整備係長 金澤 博司

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	業務規模が大きいことから、委託業務において市外業者と契約することが多く、移動に要する時間調整等、効率化を図るためZoomを用いたWeb形式の打ち合わせを実施した。
			評価者 幹線道路整備係長 金澤 博司

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	市外業者との業務打ち合わせにZoom等のICT技術を試験的に活用し、事務の効率化を目指す。この中で、課題や問題点を洗い出し、是非を含め実際の運用に向けた検証を行っていく。
達成状況及び その効果	市外業者へ委託している設計業務において、総打ち合わせ回数8回中、Zoomを用いたWeb形式での打ち合わせを3回実施した。Web形式で行うにあたり、事前に資料提供を受けたことにより、打ち合わせ時間の短縮等、効率化を図ることができた。また、細かな設計関係の打ち合わせでは設計ミスを防ぐため、対面形式の打ち合わせが必要となったことから、引き続きWeb形式と対面形式を併用しながら打ち合わせを行っていく。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	都市計画道路整備事業	担当課	道路河川課	担当係	幹線道路整備係	管理番号	49211
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		原郷上野台線アンダーパスについて、JR本体工は概ね順調に進んでいる。並行して進めてきた污水管切り回しは完了し、今後は雨水管切り回し工事を進めていく。以上より、現状のまま継続とした。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	道路河川課長 今井 吾郎				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

